

大船山

ゴールデンウィークをどう過ごすか

校長 細江 幸次

先日は授業参観、PTA総会、学級懇談会にご来校いただき、ありがとうございました。お子さんの学校での様子、新担任とのかかわりなど、どのようにご覧いただけただけでしょうか。各担任は授業参観までをひとつの節ととらえ、学級目標を掲げ、子どもたちのよい姿を少しでも多く見ていただけるよう周到に準備を進めてきました。子どもたちもそれに応えるべく、今年度の始業からがんばる姿を多く見せてくれています。そのようなことを保護者の皆様が見て感じ取れることがあれば幸いに思います。

令和4年度も間もなく1カ月が過ぎようとしています。特に新入生の7人にとっては全く新しい環境で、初めての体験も多く、心身ともに疲れが大きいことと思います。他の児童も、この時期はがんばりすぎる傾向があるように以前から感じていますが、もう間もなくするとゴールデンウィークに入ります。このゴールデンウィークが上矢作っ子にとって、よい休息になることを願っています。そして、子どもたちの主体性が育つように自ら考え、行動するゴールデンウィークにしてほしいと考えています。その一助として、次のような試みをしようと準備を進めています。

【取組の一例】

- ①ゴールデンウィークに入る前に前学年で習った漢字50問テストを行うことを予告します。
- ②そのための取組として、どれだけやらなければいけないかという指示は出しません。効果的な取組として【テスト】→【分析】→【練習】のサイクルを伝え、最初に行うテストの自己採点の結果によって自分で練習量を考えるようにします。自分にどれだけ力が付いているか繰り返し確かめながら取り組みを進めるとよいことや、その練習は連休中の自主学習として認めていくようにします。
- ③連休が明けたら漢字50問テストを行います。
- ④連休中の取組やテストの結果に対する認め・励ましは各担任に任せますが、「努力は裏切らない」「頑張っていると、いいことがある」ことを実感できる取組にしたいと考えています。

家庭学習以外でも、規則正しい生活づくり(早寝・早起き・朝ごはん)、健康な生活づくり(歯みがき、メディア時間、感染症予防、外遊びを含めた体づくり 等)、家族の一員としての役割(お手伝い)等、ご家庭でぜひ多様な視点と方法で上矢作っ子の主体性を育てていただきたいと考えています



6年生の1年生を迎える会